

# 地域精神保健福祉連絡協議会

## < 会議体としての「協議の場」 >

保健・医療を起点とした  
基盤整備の検討

統合した  
地域づくり  
の検討

福祉を起点とした  
基盤整備の検討

地域移行支援検討会議

精神障害者支援機関  
実務者連絡会

地域生活安定化会議

地域基盤の整備  
の軸

支援体制の整備  
の軸

個別支援の検討  
の軸

- ・保健・医療に係る資源等の活用・開発
- ・地域の実情に応じた施策・制度等の検討

- ・保健・医療提供体制の構築
- ・体制構築に向けた課題抽出

- ・個別課題解決
- ・個別ケースから見える地域課題の抽出

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けた議論の統合

- ・障害福祉サービスに係る資源等の活用・開発
- ・地域の実情に応じた施策・制度等の検討

- ・障害福祉サービスの提供体制の構築
- ・体制構築に向けた課題抽出

- ・個別課題解決
- ・個別ケースから見える地域課題の抽出

それぞれの会議  
から課題を抽出

# (1) 文京区地域移行支援検討会議

<実施> 5月、8月、11月、2月

<目的>

長期入院者の地域生活への移行を促進するため、文京区の基盤整備のための取り組みを強化する

「にも包括」の構築にあたっては、**地域基盤の整備の軸**に沿って検討

<主な議題>

1. 基盤整備量の検討に向け、長期入院後に退院した人の状況を検討、意見交換
2. 長期入院者への支援に向けた質的調査の検討

# 1. 長期入院後に退院した人を把握するために用いたシート（例）

No.	氏名イニシャル	対象者年代	性別	主診断名	従診断名	退院年	退院月	入院病院	入院期間	退院後の通院先病院	退院先（C）※	備考 基礎情報の記載 （自由記載）	本人と支援者との関わり のきっかけ	支援関係者①	支援関係者②	支援関係者③	支援関係者④	支援関係者⑤	障害福祉サービス①	障害福祉サービス②	障害福祉サービス③	医療サービス①	退院の促進要因 （自由記載）	退院の阻害要因 （自由記載）	本来は導入しなかったサービス等 （自由記載）	その他サービス等リストに書ききれないもの 【自由記載】
1	○・△	65～69歳	男性	「2」統合失調症、妄想性障害	「4」神経症性障害（不安障害、解離性障害等）	4	3	吉祥寺	5年半	不明	④施設へ退院	H29.7.20入院～ R4.3.10退院 退院先：養護老人ホーム	①入院前からの関わり	保健サービスセンター	障害福祉課	相談支援事業所あかり	高齢福祉課	加藤介護サービス	地域定着支援	デイケア	65歳となり、高齢施設への入居が可能となったため	本人の入院継続の強い希望があった。 母・姉がいるが関わりがない。	既往糖尿病、鼠径ヘルニア、白癬、歯科 ・病院デイケア			

# 1. 基盤整備量の検討に向け、長期入院後に退院した人の状況を検討、意見交換

## ✓ 令和5年度に把握した 「長期入院後（1年以上）に退院した対象者の実態把握」まとめ①

- 年代は50代が一番多く4件だった。70歳以上の高齢者で死亡退院事例。
- 診断カテゴリーはF2\_\_統合失調症、妄想性障害が4件で一番多かった。
- 支援関係者は保健サービスセンター、相談支援事業所、生活福祉課の順に多かった。
- 退院後の居住先は「他区GH」が3件で一番多かった。

# 1. 基盤整備量の検討に向け、長期入院後に退院した人の状況を検討、意見交換

## ✓ 令和5年度に把握した 「長期入院後（1年以上）に退院した対象者の実態把握」まとめ②

- 退院促進要因に影響するトピックスとして挙げられたものに  
「対象者の病状安定」「家族との関係」  
「文京スマイルプロジェクト」「地域移行支援事業」「計画相談」  
があった。
- 退院阻害要因に影響するトピックスについては「対象者の体調・病状」  
「希望するGHがない」「コロナ禍の影響」  
「遠方で予定が組みにくい」等が挙げられた。

➤ 今後も継続してデータを蓄積していくと共に、事例検討を行い  
必要な基盤整備量を検討

## 2. 長期入院者への支援に向けた質的調査の検討

- 前年度の調査結果（量的調査）結果を基に質的調査を実施中。
- 対象者は「入院治療が不要で退院の希望があり取り組み説明に行ける該当者」11名で、このうち65歳未満は7名。
- この7名を優先的に進め、次に4名の質的調査を実施予定。
- 地域移行に向けた動機付け支援中の方について事例検討
- 意見：遠方の病院。動機付け支援を担う機関が少ない。病院近くの資源活用。  
（ピアや事業所）
  - 質的調査を深め、基盤整備量について検討
  - 単なる調査で終わらないよう、直接支援・事業化につなげていく

# 長期入院者状況確認票

- 医療機関名、窓口担当者名、電話番号
- 氏名、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号
- 疾患名、手帳の有無、経済状況
- 主な支援者、入院担当者
- 入院日、入院形態
- 退院について（医師の見立て、本人の退院希望、家族の同意、時期）
- 退院の阻害要因、退院後の帰り先
- 現病歴、入院経緯、医療状況（服薬、病状、他疾患）
- 生活歴、家族状況
- 院内での地域移行に関する取組み（院内プログラム参加、個別支援等）
- 緊急連絡先、特記事項

## (2) 文京区精神障害者支援機関実務者連絡会

<実施> 8月、12月、2月

<目的>

顔の見える連携体制を作ると共に、実務者クラスの協議の場として、現場の課題やアイデアの提案を行う。実務者として当事者の意見の吸い上げを行う。

「にも包括」の構築にあたっては、**支援体制の整備の軸**に沿って検討。

<議題>

各回テーマを設けて開催。テーマ毎に支援体制をどのように構築していくか、検討および意見交換を行う。

第1回「住まい探しのヒント」をテーマとして、  
不動産会社の視点から住まい探しの体制を検討

< 不動産業者の現状 >

- ・ 不動産業者の嫌がる3大トラブルは「家賃滞納」「騒音」「ゴミ出し」。
- 精神障害者だから起きるトラブルではない。

- ・ 精神障害者への間違った認識を持っている不動産業者も多い。

< 課題と提案 >

- ・ 不動産業者に精神障害者の正しい知識がない。
- 支援者と不動産業者の認識の違いの穴埋め。居住支援協議会の活用。
- ・ 住まい探しのための準備ツールがあるとよい。
- 上手に住まうためのガイドブックやリーフレットの作成。

第2回「今、知っておきたいピアサポーターのこと」をテーマとして、江戸川区の取り組みを知り、文京区のピアサポーターの体制整備を検討

### <江戸川区の取り組み>

- ・ **ピアサポート活動のバックアップ支援**～江戸川区ピアサポーター育成事業～  
ピアサポーターが活躍できる地域づくり・ひとりひとりのなりたいピアを支援

### <課題と提案>

- ・ ピアサポーターとの接点やピアサポーターのことを知る機会が少ない。  
→ **当事者とピアサポーターの交流の場の設定**
- ・ ピアサポーターの活躍場所が少ない。  
→ **ピアサポーターのニーズを確認し、安心して活躍できる体制を検討**

## 第3回「切れ目のない支援」をテーマとして、介護保険の仕組みを知り、スムーズな介護移行のための支援体制を検討

### <介護保険を知る>

- ・ 障害者支援と高齢者支援のサービスは基本理念・制度設計が異なる。
- サービスの移行には必ず切れ目があることを認識。
- ・ サービスの移行は、制度維持のため、本人も支援者も困ることが多い。
- 障害と高齢、分野をまたがった支援の視点を持つ。

### <課題と提案>

- ・ 障害と高齢、お互いの制度の理解と支援者の連携に課題がある。
- ・ 加齢とともに支援者や居場所が変化することに戸惑いが起きる。
- 早い段階からの準備（支援者間での情報共有とコーディネート含む）が必要。
- 支援者間の切れ目をなくす。お互いを知る関係づくりの場があるとよい。

# (3) 文京区地域生活安定化会議

<実施> 6月、10月、12月、2月

<目的>

精神科未治療者や治療中断の可能性が高い者、通常の障害福祉サービスの利用ができない者等を対象とし、自宅への訪問や受診同行を行う。

「にも包括」の構築にあたっては、**個別支援の検討の軸**に沿って検討。

<主な議題>

個別ケースの事例検討

(今年度から、**医療的視点**を取り入れるため**医師**が参加)

# 1. 個別ケースの事例検討

## <事例検討で出た意見>

- ・薬への依存がある場合、精神科以外の処方もあるため医療機関同士の連携も必要。
  - ・コミュニケーションの取り難さのあるケースの生活状況・状態像を支援者が医師へ伝えることで、服薬調整がうまくいった。
- 安定化の支援が入ることが、病状悪化予防・ケースの生活を整えることにつながった。

## <今後の課題>

- 医療と地域の連携
- 予防的関わり

# 1. 個別ケースの事例検討

## <事例検討で出た意見>

- ・人との関わりが無くなることは再発リスクになり得る。  
→人をつながることで安心して地域で生活できる。人とのつながりが、不安軽減・病状安定に寄与している。
- ・地域活動支援センターの相談機能が支えになっている。

## <課題>

- サービスに依存しない支援の仕方
- 相談先の維持・孤立しないための準備
- 地域のコミュニティへつないでいくことを視野に入れた支援